

令和2年度 事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルスの感染が日ごとに広がる中で迎えた令和2年度は、鹿山会ホームページや鹿山会報などを活用し会員の絆を深めるとともに、さらなる感染拡大防止に十分留意して本会の運営を図ってまいります。

また、在校生が心豊かな高校生活を送れるよう必要な支援を行うとともに教育環境の充実に協力してまいります。

さらに、藩校時代からの歴史と伝統を継承していくため、鹿山文庫関係資料・佐倉高校記念館の保存等にも協力してまいります。

具体的には、次の実施要領に沿って諸事業を展開してまいります。

2 実施要領

(1) 会議等の開催

総会、評議員会、役員会の開催

※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、中止または縮小開催する場合がある。

(2) 各支部及び同期会の総会等に会長等が出席し、連携を強化

(3) 各委員会の活動

□総務委員会

総会、役員会等の会議開催及びその準備

① 予算案・決算書等の作成

※平成30年度・令和元年度は県立移管120周年記念事業のため事業費が増大したが、令和2年度予算は平年ベースに戻す。

② 年会費・入会金の納入通知及び収納事務（年会費は10月に通知）

③ 県立移管120周年記念版『会員名簿』の発刊：1冊4,700円、10月下旬発行予定、(株)サラトに委託

④ 各支部との連絡調整

⑤ 『県立移管120周年記念誌』の販売

※地域交流施設で1部2,000円（約200部、郵送等はない）

□広報委員会

① 鹿山会報第15号の編集・発行

発行日予定：10月20日

配布先：会員（約17,000人）及び在校生等（約1,000人）

印刷部数：1万9,000部

② 鹿山会ホームページの管理運営

鹿山会及び母校に関する情報発信

□教育振興委員会

- ① 生徒奨励
 - ・ 新入生への校章贈呈
 - ・ 卒業生に記念品贈呈
 - ・ 「鍋山祭」への助成
 - ・ 卒業生による講演会「ようこそ先輩」への助成
- ② 部活動奨励
 - ・ 関東大会（準ずるものを含む）以上の競技会等への参加助成
- ③ 国際交流支援
 - ・ オランダ：ドラードカレッジ校への派遣事業の助成
 - ・ オーストラリア短期研修事業の助成

□鹿山文庫委員会

- ① 「鹿山文庫関係資料」等の保存管理・展示充実に協力
- ② 鹿山文庫講演会を開催(母校と共催) *コロナ禍により中止
 - ・ 日時 11月14日(土) 13:30～
 - ・ 会場 母校・地域交流施設研修室
 - ・ テーマ 未定
 - ・ 講師 未定
 - ・ 募集人数 70名
- ③ 全国藩校サミットへ参加 *コロナ禍により来年度に延期
「第18回全国藩校サミット壬生大会」
11月21日(土)～22日(日) 栃木県壬生町で開催
(壬生藩校：学習館)

令和2年度 鹿山会予算

1 一般会計

(単位:円)

(収入の部)

科目	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
1 入会金	1,280,000	1,280,000	0	卒業生入会金 4,000×320人
2 年会費	4,000,000	4,000,000	0	年会費 2,000+寄付金
3 雑収入	800,000	2,310,000	△ 1,510,000	総会参加者負担金800,000
4 繰入金	0	2,504,000	△ 2,504,000	基本基金会計より
5 繰越金	2,136,215	3,672,586	△ 1,536,371	前年度より
合計	8,216,215	13,766,586	△ 5,550,371	

(支出の部)

科目	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
1 総務費	3,960,000	3,750,000	210,000	
(1)会議費	1,200,000	1,200,000	0	総会懇親会経費950,000、評議員会・役員会経費
(2)財務費	2,270,000	2,180,000	90,000	年会費案内・鹿山会報発送委託料 2,270,000
(3)交際費	240,000	220,000	20,000	支部総会参加費等 130,000、転退職職員餞別金 70,000
(4)事務費	250,000	150,000	100,000	通信費、消耗品等
2 広報費	770,000	710,000	60,000	
(1)鹿山会報費	700,000	640,000	60,000	会報制作・印刷経費 (会員及び在校生等に配布)
(2)ホームページ費	40,000	30,000	10,000	ホームページ管理委託料
(3)事務費	30,000	40,000	△ 10,000	通信費、消耗品
3 教育振興費	2,130,000	2,110,000	20,000	
(1)生徒奨励費	630,000	610,000	20,000	鍋山祭助成 240,000、卒業記念品 177,000、 新入生校章138,000、ようこそ先輩助成 70,000
(2)部活動奨励費	800,000	800,000	0	関東大会以上の出場助成
(3)国際交流支援費	700,000	700,000	0	オーストラリア派遣 450,000、オランダ派遣 250,000
4 鹿山文庫費	150,000	400,000	△ 250,000	
(1)保存管理費	100,000	350,000	△ 250,000	指導員費(祝日等)助成63,000
(2)藩校継承費	50,000	50,000	0	鹿山文庫講演会経費30000
5 諸費	0	5,804,000	△ 5,804,000	
6 予備費	1,206,215	992,586	213,629	
合計	8,216,215	13,766,586	△ 5,550,371	

2 基本基金会計 (積立金)

(単位:円)

科目	令和2年度	令和元年度	比較増減	備考
前年度末現在高	17,954,042	20,457,891	△ 2,503,849	繰越金
増減見込				
積立 (+)	110	110	0	利子収入
取崩し (-)	0	2,504,000	△ 2,504,000	一般会計へ操出
当年度末現在高見込	17,954,152	17,954,001	151	翌年度へ繰越予定